

「川崎市高齢者外出支援乗車事業の ICT 導入等に関する サウンディング型市場調査」の結果を公表します

川崎市高齢者外出支援乗車事業について、高齢者数の増加や社会参加のニーズの複雑化・多様化、事業費の増加への対応として見直しを行っており、今後、ICT の導入により正確な利用実態の把握及び新たな社会的活動への参加支援施策を検討することとしています。

令和3年度の ICT 導入等のための事業者選定に向け、具体的な公募条件等の整理を行うためのサウンディング型市場調査を実施しましたので、その結果をお知らせします。

1 実施概要

(1) 実施期間

令和3年2月8日（月）～19日（金）

(2) 主な対話項目

- ・導入する ICT に関するアイデア
- ・効果的で魅力的な社会的活動への参加支援に関するアイデア
- ・ICT 導入による事務の効率化
- ・事業費抑制のための手法

(3) 参加者数

5 団体

2 主な対話内容

- ・媒体については市独自カード、交通系 IC カード、スマートフォンアプリの活用などの提案があり、利用者の乗車方法については、読取機へのタッチや、スマートフォン画面の提示などでの乗車が可能。
- ・フリーパスの販売数集計や再発行時の記録など、手作業で行っているものをシステムにより自動化することで、事務の効率化を図ることが可能。
- ・システム開発等については、参加者によって手法が異なるものの、すでにバス車内に設置されている車載器との連携は各メーカーやバス事業者との連携が必須となるため、車載器との連携をしないパターンも想定しておくなど、事業者選定時の要件については検討が必要。
- ・横浜市との市境路線における運用では、両市が異なる媒体を選定した場合、利用者が乗車時に混乱しないよう、複数媒体を読み取れる機器の開発や設置場所の工夫での対応が想定される。
- ・乗車料金が異なる区間を運行する路線では、乗降場所によって制度利用の可否が変わるため、その判定方法を検討する必要がある。
- ・共通のクラウドサーバを使用することにより、乗車料金の優待だけでなく、ヘルスケアや見守りサービスといった展開の他、公共施設や店舗への読取機設置による割引・ポイント制度などのオプション施策も、費用を抑えながら導入することも可能。

3 今後の予定

民間事業者からいただいた提案や意見を参考に、ICT 導入等のための事業者の公募条件などを検討し、令和 3 年度に事業者の選定を行います。

4 その他

本調査に係る実施要領などは、以下のページを御確認ください。

【掲載ページ】 <https://www.city.kawasaki.jp/350/page/0000124213.html>

担 当	川崎市健康福祉局長寿社会部高齢者在宅サービス課 菅野 電話：044-200-2650
--------	---